

## 再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 環境安全・防災課  
担当課長名：渡辺 学

事業名	空港・港湾等アクセス道路 主要地方道防府環状線 牟礼工区	事業区分	地方道	事業主体	山口県
起終点	自：山口県防府市牟礼柳 至：山口県防府市牟礼			延長	0.6 km
事業概要					
<p>主要地方道防府環状線は、防府市街地の外環を形成する主要幹線道路であるとともに、山陽自動車道や重要港湾三田尻中関港へのアクセス道路として重要な道路である。</p> <p>事業区間より南側0.9kmは、平成31年2月に供用開始したところであるが、残る国道2号までの0.6kmについては、依然として歩道がなく、幅員の狭い市道や市街地の県道に通過交通が流入し、渋滞が発生していることから、安全で円滑な交通に支障をきたしている。</p> <p>このため、当該区間のバイパス整備を行うことにより、地域住民の安全で円滑な交通の確保をするとともに、広域交通拠点との連絡を強化し、物流の効率化を図るものである。</p>					
H26年度事業化		H22年度都市計画決定		H27年度用地着手	
H30年度工事着手					
全体事業費	約15億円	事業進捗率	26%	供用済延長	0 km
計画交通量	6,300台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.9 (残事業) 2.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 10/13億円 事業費：8.9/13億円 維持管理費：0.35/0.35億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 25/25億円 走行時間短縮便益：22/22億円 走行費用減少便益：2.5/2.5億円 交通事故減少便益：0.75/0.75億円	基準年	令和元年
感度分析の結果					
<p>(事業全体) 交通量 : B/C=1.7~2.2(交通量±10%) (残事業) 交通量 : B/C=2.3~3.1(交通量±10%)                  事業費 : B/C=1.8~2.1(事業費±10%) 事業費 : B/C=2.5~3.0(事業費±10%)                  事業期間 : B/C=1.8~2.0(事業期間±20%) 事業期間 : B/C=2.6~2.8(事業期間±20%)</p>					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域間の移動時間が短縮されるとともに、定時性や安定した走行が確保されることから、以下の効果がある。</li> <li>・ 物流の効率化により、地域産業の活性化が期待できる。</li> <li>・ 防府市東南部から三次救急医療機関（県立総合医療センター）への搬送時間の短縮により救命率の向上に寄与する。</li> <li>・ 周辺道路の渋滞緩和により、円滑な交通が確保される。</li> <li>・ 歩道の整備により歩行者や自転車利用者の通行の安全を確保することができる。</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見					
<p>当該道路は、「防府市都市計画マスタープラン（平成30年度から令和20年度）」に、産業活動や物流の効率化に寄与する道路として位置づけられているとともに、毎年、防府市や防府商工会議所から早期整備の要望がある。</p> <p>地元住民は事業に協力的であり、事業推進にあたっての協力体制が整っている。</p>					
事業評価監視委員会の意見					
令和元年度山口県公共事業評価委員会（R元.9.2）において、審議の結果「事業継続」が妥当であると認められた。					
事業採択時より、再評価実施時までの周辺環境変化等					
・ 都市計画道路環状一号線（牟礼柳地内から沖今宿二丁目地内）が平成31年2月に供用開始。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率：約50%（面積ベース）、事業進捗率：約26% 盛土工、橋梁工の進捗を図り、早期完成を目指す。					

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

残る用地取得を継続するとともに、早期開通を目指し、改良工事を推進していく。

施設の構造や工法の変更等

・今後も工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案し、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。